

# 室蘭建設管理部

事業一覧および事業箇所図は室蘭建設管理部の社会資本整備に関する  
アカウントビリティのページにて公表します。（6月公表予定）  
<https://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/mkk/mur-dogen/account/index.html>



## 室蘭建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

### 《概要》

室蘭建設管理部管内は、観光、水産業、農業などの多岐にわたる産業が発展し、市街化や企業立地が進む道央圏の物流拠点であり、また、令和2年に、アイヌ文化の復興・発展のため民族共生象徴空間（ウポポイ）が開設、令和3年に、北黄金貝塚及び入江・高砂貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されるなど、歴史・文化の発信拠点の役割などを果たしています。建設管理部では、道央圏の物流機能強化、地域住民や来訪者の利便性の向上などを図り、地域経済の発展に資する社会資本整備を進めています。

また、平成12年の有珠山噴火、平成26年、28年、29年と連続した豪雨災害、平成30年に震度7を記録した胆振東部地震など、甚大な自然災害を繰り返し経験しており、これらの甚大な自然災害を教訓とし、大規模災害時の代替性を確保するなど災害リスクを想定した交通ネットワークの形成、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で治水対策をおこなう流域治水、ハード・ソフト一体とした総合的な土砂災害対策などの取り組みや、管理施設の老朽化対策を計画的に行うなど、安全・安心な地域の実現に向けた社会資本整備を進めています。

道路事業では、有珠山噴火時の避難路として滝之町伊達線、津波災害時の避難路として上向別浦河停車場線など、災害リスクを想定した道路ネットワーク整備のほか、大岸礼文停車場線における落石等の防災・減災対策や、観光拠点の玄関口であるJR登別駅の駅前広場の街路事業を推進します。

河川事業では、安平川で河道内調整地の新設、近年浸水被害が発生した真沼津川の河道整備など流域の特性に応じた治水対策を推進するほか、砂防事業では、土砂・洪水氾濫が発生したパンケヌシ川などの砂防施設整備、樽前山噴火直後の降雨型泥流に備えブロック備蓄などを進め、海岸事業では、越波被害が著しい虎杖浜海岸で前浜の回復を図る侵食対策を推進します。また、漁港事業では、イタンキ漁港で港内静穏確保のための防波堤改良など、水産物の流通拠点の安全性を確保します。